2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経機能病態学研究	三原 雅史

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

独創性の高い研究を構想し，適切な実験方法を用いて新たな科学的知見を見いだし，最終的にそれを論文化する能力を修得する。

授業到達目標

（1）研究の背景知識について文献検索など的確な情報収集ができる。
（2）基本的な生化学・分子生物学・細胞生物学的実験操作ができる。
（3）独自の研究テーマを構想できる。
（4）実験計画を立案できる。
（5）実験結果を適切に解釈し，データとして整理することができる。
（6）論文にまとめることができる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	14:00 - 16:00	三原 雅史	近赤外分光法を用いた脳機能評価について
毎月	第 1 月	14:00 - 16:00	逸見 祥司	電気生理学的検査法について
毎月	第 3 月	14:00 - 16:00	梶山 裕太	脳機能画像技術を用いた解析法について
毎週	木	13:00 - 14:00	三原 雅史	生物統計解析方法について

評価方法

（1） 1・2 年次に中間発表へ出席する。
（2） 2 年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：1 年次に受講。]
（4） 1 週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

実験の進捗状況を 4 週間ごとにチェックし，助言・指導を行う。

教科書

ISBN-9780879697082, At the bench : a laboratory navigator (1st Edition), Kathy Barker, Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2004
ISBN-9780415452663, Guide to publishing a scientific paper (1st Edition), Ann M. Körner, Routledge, 2008

参考書

ISBN-9781936113422, Molecular cloning : a laboratory manual <3 volume set> (4th Edition), Michael R. Green, et al., Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2012
ISBN-9784758101776, 新遺伝子工学ハンドブック（改訂第 5 版）, 村松正實, 他（編集）, 羊土社, 2010

準備学習（予習・復習等）

（1）予習：背景となる先行研究論文に目を通すとともに，実験方法のプロトコールをあらかじめ整理しておく。
（2）復習：得られたデータを整理し，結果を総括するとともに，次の研究計画の概略を企画する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

学位認定に値する卓越した研究成果をあげる。

注意事項・メッセージ

研究を行う上での疑問点，問題点についてはできるだけ速やかに報告・相談しながら，研究を推進する。